

平成 28 年度  
● 2016 ●  
**SYLLABUS**  
(講義概要)

別冊



京都ノートルダム女子大学

		別	冊		
共通	10116304	英語総合 I C	…	1	
共通	10116309	英語総合 I H	…	1	
共通	10116404	英語総合 II C	…	2	
共通	10116409	英語総合 II H	…	2	
英人	18010201	医療サポート英語 II	…	3	
英文	20703101	医療サポート英語 II	…	3	
英文	20103101	Listening I A	…	3	
英文	20103201	Listening II A	…	3	
英文	20104101	Speaking I A	…	4	
英文	20104201	Speaking II A	…	4	
英文	20203201	Advanced English	…	5	
英文	20203603	TOEIC I C	…	5	
英文	20203703	TOEIC II C	…	6	
英文	20204401	Advanced Writing I A	…	6	
英文	20302202	専門講読 I c B	…	6	
英文	20603301	Global English Lecture III c	…	7	
英文	20604101	Global English Workshop I a	…	7	
人文	22510301	音楽学特講	…	8	
生福	24513701	社会福祉史	…	8	
生福	24531559	養護内容 P	…	9	
共通	10183501	資格英語 I	…	9	
共通	10183601	資格英語 II	…	9	
英文	20203301	イングリッシュ・チャレンジ I	…	10	
英文	20203401	イングリッシュ・チャレンジ II	…	10	

講義コード	10116304			
科目名	英語総合 I C			
担当者	中村 央希			
単位数	1	配当学年	1	
資格				
前提科目				
テキスト	『English Grip Essential English Skills for College Students -大学生のための基本英文法と TOEIC テスト必修単語-』 本多吉彦, Robert Hickling 金星堂 2015			
参考文献				
備考	必修 クラス指定			
科目読替				
社会人 基礎能力	自分を育てる力	✓	共生・協働する力	✓
	コミュニケーションする力	✓	創造・発信する力	✓
	思考・解決する力	✓	主体的に行動する力	✓

### 1. 科目の教育目標

このクラスでは、英文法の知識と英単語の習得に力点を置き、TOEIC や英検等の各種英語検定試験で必要とされる英文の読解力を身につける事を目標とします。

### 2. 教育・学習の個別課題

1. これまでに学習してきた語彙や文法の復習
2. 新しい語彙や表現の学習
3. 自分の力で読み、訳せるようになること
4. 自分の言いたいことが表現できるようになること

### 3. 教育・学習の方法

授業では、各章のはじめにその章の単語テストを行います。主要な文法事項を解説後、各問題に取り組みます。リスニング問題では音読練習も行います。必ず辞書（紙の辞書、電子辞書など）を持参してください。

#### ・準備学習の具体的な方法

単語、熟語は各自調べておくこと。

### 4. 評価方法・評価基準

評価は2回の復習テスト(50%)、授業参加度及び授業態度(30%)、小テスト等(20%)の総合評価を行います。授業の1/3以上を欠席の場合は単位が認められません。また30分以上の遅刻は欠席となるので注意してください。

### 5. 授業予定

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 Unit 1  
Fashion・名詞
- 第3回 Unit 2  
Companies・代名詞
- 第4回 Unit 3  
Business Trips・自動詞・他動詞・リンキング動詞
- 第5回 Unit 4  
Transportation and Communiting・助動詞
- 第6回 Unit 5  
Marketing, Sales and Products・不定詞・動名詞
- 第7回 中間まとめ
- 第8回 Unit 6  
Office and Supplies・場所・動きを表す前置詞
- 第9回 Unit 7  
Meetings and Presentations・時間を表す前置詞
- 第10回 Unit 8  
Art・形容詞・副詞
- 第11回 Unit 9  
Restaurants and Food・原級・比較級・最上級
- 第12回 Unit 10  
Housing・接続詞(1)
- 第13回 Unit 11  
The Environment and Recycling・現在時制と現在進行時制
- 第14回 復習
- 第15回 期末まとめ

### 6. 留意事項

必ず授業には辞書を持参すること。携帯電話を利用した辞書は認めません。

講義コード	10116309			
科目名	英語総合 I H			
担当者	松本 ドロタ			
単位数	1	配当学年	1	
資格				
前提科目				
テキスト	『World English (2nd edition): Combo Split Intro A with Online Workbook Access Code』 Kristin L. Johannsen, Martin Milner, Rebecca Tarver Chase Cengage Learning 2015			
参考文献				
備考	必修 クラス指定			
科目読替				
社会人 基礎能力	自分を育てる力	✓	共生・協働する力	✓
	コミュニケーションする力	✓	創造・発信する力	✓
	思考・解決する力	✓	主体的に行動する力	✓

### 1. 科目の教育目標

このクラスでは、英語の4技能(読み・書く・話す・聞く)の基礎力を養成します。また世界現象をビデオを通して学びます。

### 2. 教育・学習の個別課題

- ・基礎的な読解・リスニング技能を獲得する。
- ・基礎的な文法と語彙が理解できる。
- ・世界各地から集められた情報に触れることで、世界に目を向ける。

### 3. 教育・学習の方法

テキストの内容理解を助けるための予習プリントを配布します。

#### ・準備学習の具体的な方法

必ず予習プリントを自宅学習してきてください。

### 4. 評価方法・評価基準

評価は試験(30%)、授業参加度及び授業態度(30%)、授業参加(20%)、課題等(20%)の総合評価を行います。授業の1/3以上を欠席の場合は単位が認められません。また30分以上の遅刻は欠席となるので注意してください。

### 5. 授業予定

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 Unit1 (D): Reading 「Families around the world」  
(Speaking & Writing) 世界の国々の家族を比較する
- 第3回 Unit 1 (E): (総合) ビデオ・ジャーナル「Animal Families」
- 第4回 Unit 2 (D): (Reading) Different Farmers,  
(Writing/Speaking) 国によって異なる仕事を比較する
- 第5回 Unit 2 (E): (総合) ビデオ・ジャーナル「A Job for Children」
- 第6回 Unit 3 (D): (Reading) TED TALKS: Kent Larson: Brilliant  
Designs to Fit Nore People in Every City
- 第7回 Unit 3 (E): (総合) ビデオ・ジャーナル「A Very Special  
Village
- 第8回 前半の復習とまとめ
- 第9回 Unit 4 (D): (Reading) Jewelry, (Writing/Speaking) 所持し  
ている物について話す
- 第10回 Unit 4 (E): (総合) ビデオ・ジャーナル「Uncovering the  
Past」
- 第11回 Unit 5 (D): (Reading) TED TALKS: Karen Bass: Unseen  
Footage, Untamed Nature
- 第12回 Unit 5 (E): (総合) ビデオ・ジャーナル 「Zoo Dentists」
- 第13回 Unit 6 (D): (Reading.) Shackleton's Epic Journey - A diary,  
(Writing/Speaking) 旅を記録する
- 第14回 Unit 6 (E): (総合) ビデオ・ジャーナル「Volcano Trek」
- 第15回 後半の復習とまとめ

### 6. 留意事項

必ず授業には辞書を持参すること。

講義コード	10116404			
科目名	英語総合ⅡC			
担当者	中村 央希			
単位数	1	配当学年	1	
資格				
前提科目				
テキスト	『English Grip Essential English Skills for College Students - 大学生のための基本英文法と TOEIC テスト必修単語 - 』 本多吉彦, Robert Hickling 金星堂 2015			
参考文献				
備考	必修 クラス指定			
科目読替				
社会人 基礎能力	自分を育てる力	✓	共生・協働する力	✓
	コミュニケーションする力	✓	創造・発信する力	✓
	思考・解決する力	✓	主体的に行動する力	✓

講義コード	10116409			
科目名	英語総合ⅡH			
担当者	松本 ドロタ			
単位数	1	配当学年	1	
資格				
前提科目				
テキスト	『World English (2nd edition): Combo Split Intro B with Online Workbook Access Code』 Kristin L. Johannsen, Martin Milner, Rebecca Tarver Chase CENGAGE Learning 2015			
参考文献				
備考	必修 クラス指定			
科目読替				
社会人 基礎能力	自分を育てる力	✓	共生・協働する力	✓
	コミュニケーションする力	✓	創造・発信する力	✓
	思考・解決する力	✓	主体的に行動する力	✓

### 1. 科目の教育目標

このクラスでは、英文法の知識と英単語の習得に力点を置き、TOEIC や英検等の各種英語検定試験で必要とされる英文の読解力を身につけることを目標とします。

#### 2. 教育・学習の個別課題

1. これまで学習してきた語彙や文法の復習
2. 新しい語彙や表現の学習
3. 自分の力で読み、訳せるようになること
4. 自分の言いたいことが表現できるようになること

#### 3. 教育・学習の方法

授業では、各章のはじめにその章の単語テストを行います。主要な文法事項を解説後、各問題に取り組みます。リスニング問題では音読練習も行います。必ず辞書（紙の辞書、電子辞書など）を持参してください

#### ・準備学習の具体的な方法

単語、熟語は各自調べておくこと。

#### 4. 評価方法・評価基準

評価は2回の復習テスト(50%)、授業参加度及び授業態度(30%)、小テスト等(20%)の総合評価を行います。授業の1/3以上を欠席の場合は単位が認められません。また30分以上の遅刻は欠席となるので注意してください。

#### 5. 授業予定

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 Unit 12  
Business Profile・過去時制
- 第3回 Unit 13  
Schedule・未来
- 第4回 Unit 14  
Computers and the Internet・現在完了時制・過去完了時制
- 第5回 Unit 15  
Industry and Manufacturing・能動態と受動態
- 第6回 Unit 16  
Making Arrangements・接続詞(2) 従位(従属)接続詞
- 第7回 中間まとめ
- 第8回 Unit 17  
Business Culture・否定文
- 第9回 Unit 18  
Recruitment・疑問文・疑問詞・付加疑問文
- 第10回 Unit 19  
Entertaining and Socializing・関係代名詞・関係副詞
- 第11回 Unit 20  
Education・後置修飾
- 第12回 Unit 21  
Banking・仮定法
- 第13回 Unit 22  
Health・話法
- 第14回 復習
- 第15回 期末まとめ

#### 6. 留意事項

必ず授業には辞書を持参すること。

### 1. 科目の教育目標

このクラスでは、英語の4技能(読み・書く・話す・聞く)の基礎力を養成します。また世界事象をビデオを通して学びます。

#### 2. 教育・学習の個別課題

- ・基礎的な読解・リスニング技能を獲得する。
- ・基礎的な文法と語彙が理解できる。
- ・世界各地から集められた情報に触れることで、世界に目を向ける。

#### 3. 教育・学習の方法

テキストの内容理解を助けるための予習プリントを配布します。

#### ・準備学習の具体的な方法

必ず予習プリントを自宅学習してきてください。

#### 4. 評価方法・評価基準

評価は試験(30%)、授業参加度及び授業態度(30%)、授業参加(20%)、課題等(20%)の総合評価を行います。授業の1/3以上を欠席の場合は単位が認められません。また30分以上の遅刻は欠席となるので注意してください。

#### 5. 授業予定

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 Unit 7 (D): (Reading) Soccer The Beautiful Game,  
(Writing/Speaking) スポーツに関して話す
- 第3回 Unit 7 (E): (総合) ビデオ・ジャーナル「Danny's Challenge」
- 第4回 Unit 8 (D): (Reading) Chameleon and Clothes,  
(Writing/Speaking) 衣服や色について知る
- 第5回 Unit 8 (E): (総合) ビデオ・ジャーナル「Traditional Silk-Making」
- 第6回 Unit 9 (D): (Reading) TED TALKS "Ron Finley: Guerilla Gardener in South Central L.A."
- 第7回 Unit 9 (E): (総合) ビデオ・ジャーナル「Slow Food」
- 第8回 前半の復習とまとめ
- 第9回 Unit 10 (D) (Reading) Preventing Disease,  
(Writing/Speaking) 病気の防止について話す
- 第10回 Unit 10 (E): (総合) ビデオ・ジャーナル「Farley, the Red Panda」
- 第11回 Unit 11 (D): (Reading) TED TALKS "Derek Silvers: Keep Your Goals to Yourself"
- 第12回 Unit 11 (E): (総合) ビデオ・ジャーナル「Making a Thai Boxing Champion」
- 第13回 Unit 12 (D): (Reading) Human Migration,  
(Writing/Speaking) 移住について論じる
- 第14回 Unit 12 (E): (総合) ビデオ・ジャーナル「Monarch Migration」
- 第15回 後半の復習とまとめ

#### 6. 留意事項

必ず授業には辞書を持参すること。辞書がない場合には、授業に参加する意思がないとみなされることがあるので、注意すること。

講義コード	18010201			
科目名	医療サポート英語Ⅱ			
担当者	ヒディング アトリアナ			
単位数	2	配当学年	234	
資格	[医]			
前提科目	180101「医療サポート英語Ⅰ」			
テキスト	『Because We Care』 Maki Inoue & Tadashi Ihara CENGAGE 2010			
参考文献				
備考				
科目読替				
社会人 基礎能力	自分を育てる力	✓	共生・協働する力	✓
	コミュニケーションする力	✓	創造・発信する力	✓
	思考・解決する力	✓	主体的に行動する力	✓

講義コード	20703101			
科目名	医療サポート英語Ⅱ			
担当者	ヒディング アトリアナ			
単位数	2	配当学年	234	
資格	[医]			
前提科目	180101「医療サポート英語Ⅰ」			
テキスト	『Because We Care』 Maki Inoue & Tadashi Ihara CENGAGE 2010			
参考文献				
備考				
科目読替				
社会人 基礎能力	自分を育てる力	✓	共生・協働する力	✓
	コミュニケーションする力	✓	創造・発信する力	✓
	思考・解決する力	✓	主体的に行動する力	✓

### 1. 科目の教育目標

The course aims to increase knowledge of Medical English vocabulary, useful phrases, and to provide familiarity in using English in situations specific to medical services provision.

### 2. 教育・学習の個別課題

Frequent vocabulary tests will be assigned. There will also be some assigned reading.

### 3. 教育・学習の方法

Students will rehearse various English-language medical situations by engaging in structured role-play activities with other class members.

#### ・準備学習の具体的な方法

Reading assigned printed sheets and vocabulary revising for regular tests.

### 4. 評価方法・評価基準

Weekly testing.

### 5. 授業予定

- 第1回 Introduction to Medical English
- 第2回 Introduction to Medical English
- 第3回 General practice
- 第4回 General practice
- 第5回 Medical Specialization 1
- 第6回 Medical Specialization 2
- 第7回 Medical Specialization 3
- 第8回 Medical Specialization 4
- 第9回 Medical Specialization 5
- 第10回 Medical Specialization 6
- 第11回 Role-play: emergency
- 第12回 Role-play: consultation
- 第13回 Role-play: bedside manner
- 第14回 Medical ethics
- 第15回 Course overview: Bringing it all together

### 6. 留意事項

The Lesson Plan above is a guideline, and the teacher may find reason to pursue an alternative schedule.

講義コード	20103101			
科目名	Listening I A			
担当者	松本 ドロタ			
単位数	1	配当学年	1	
資格				
前提科目				
テキスト	A class workbook will be given to students.			
参考文献				
備考	必修 クラス指定			
科目読替				
社会人 基礎能力	自分を育てる力	✓	共生・協働する力	✓
	コミュニケーションする力	✓	創造・発信する力	✓
	思考・解決する力	✓	主体的に行動する力	✓

### 1. 科目の教育目標

The aim of this course is for students to develop the skills needed to comprehend spoken English.

### 2. 教育・学習の個別課題

Active participation in all classroom activities is required. These activities include pre-listening, listening, and post-listening tasks.

### 3. 教育・学習の方法

This course will be conducted entirely in English. In-class activities will be completed individually, in pairs, and in small groups.

#### ・準備学習の具体的な方法

Students are expected to complete their homework on time.

Assignments include vocabulary study and review of previous classwork.

### 4. 評価方法・評価基準

Student assessment will be based on the following:

Class Participation: 60%

Quizzes and Tests: 40%

### 5. 授業予定

- 第1回 Listening Introduction
- 第2回 Bethany Hamilton, Soul Surfer
- 第3回 Hawaii, the Hamilton Family
- 第4回 Best Friends: Bethany and Alana
- 第5回 Night Surfing
- 第6回 Shark Attack
- 第7回 In Hospital
- 第8回 Coming Home
- 第9回 Volunteering in Thailand
- 第10回 Back to the Ocean
- 第11回 Training
- 第12回 Competition
- 第13回 A Story of Hope
- 第14回 Revision
- 第15回 Unit Summary

### 6. 留意事項

The schedule for instruction will be flexible. The instructor will set the pace according to the needs and abilities of the class.

講義コード	20103201			
科目名	Listening II A			
担当者	松本 ドロタ			
単位数	1	配当学年	1	
資格				
前提科目				
テキスト	A workbook for use in both Speaking and Listening classes will be given in class.			
参考文献				
備考	必修 クラス指定			
科目読替				
社会人 基礎能力	自分を育てる力	✓	共生・協働する力	✓
	コミュニケーションする力	✓	創造・発信する力	✓
	思考・解決する力	✓	主体的に行動する力	✓

### 1. 科目の教育目標

The aim of this course is for students to continue developing the skills needed to comprehend spoken English.

## 2. 教育・学習の個別課題

Active participation in all classroom activities is required. These activities include pre-listening, listening, and post-listening tasks.

## 3. 教育・学習の方法

This course will be conducted entirely in English. In-class activities will be completed individually, in pairs, and in small groups.

### ・準備学習の具体的な方法

Students are expected to complete their homework on time. Homework assignments include vocabulary study, extensive listening, and preparation for in-class activities.

## 4. 評価方法・評価基準

Student assessment will be based on the following:

Class Participation: 60%

Quizzes and Tests: 40%

## 5. 授業予定

- 第1回 17 Again, Listening
- 第2回 Twenty Years Ago
- 第3回 Ned, Mike's Best Friend
- 第4回 Family: Wife and Children
- 第5回 Work Problem
- 第6回 Family Problem
- 第7回 The Janitor
- 第8回 17 Again
- 第9回 Back to High School
- 第10回 Helping Alex
- 第11回 The School Bully
- 第12回 Mike's Mission
- 第13回 Healing the Family
- 第14回 Happy Ending
- 第15回 17 Again, Summary

## 6. 留意事項

The schedule for instruction will be flexible. The instructor will set the pace according to the needs and abilities of the class.

講義コード	20104101			
科目名	Speaking I A Soul Surfer: Speaking			
担当者	松本 ドロタ			
単位数	1	配当学年	1	
資格				
前提科目				
テキスト	A class workbook will be given to students. The workbook is for use with your Speaking and Listening classes.			
参考文献				
備考	必修 クラス指定			
科目読替				
社会人基礎能力	自分を育てる力	✓	共生・協働する力	✓
	コミュニケーションする力	✓	創造・発信する力	✓
	思考・解決する力	✓	主体的に行動する力	✓

## 1. 科目の教育目標

The aim of this course is for students to develop the skills needed to communicate effectively in oral English.

## 2. 教育・学習の個別課題

Active participation in all classroom activities is required. These activities include conversations, discussions, presentations, debates, and communication games.

## 3. 教育・学習の方法

This course will be conducted entirely in English. In-class activities will be completed individually, in pairs, and in small groups.

### ・準備学習の具体的な方法

Students are expected to complete their homework on time. Homework assignments include vocabulary study and preparation for in-class activities.

## 4. 評価方法・評価基準

Student assessment will be based on the following:

Class Participation: 60%

Quizzes and Tests: 40%

## 5. 授業予定

- 第1回 Speaking Introduction
- 第2回 Bethany Hamilton, Soul Surfer
- 第3回 Hawaii, the Hamilton Family

第4回 Best Friends: Bethany and Alana

第5回 Night Surfing

第6回 Shark Attack

第7回 In Hospital

第8回 Coming Home

第9回 Volunteering in Thailand

第10回 Back to the Ocean

第11回 Training

第12回 Competition

第13回 A Story of Hope

第14回 Revision

第15回 Unit Summary

## 6. 留意事項

The schedule for instruction will be flexible. The instructor will set the pace according to the needs and abilities of the class.

講義コード	20104201			
科目名	Speaking II A			
担当者	松本 ドロタ			
単位数	1	配当学年	1	
資格				
前提科目				
テキスト	A workbook for use in both Speaking II classes will be given in class.			
参考文献				
備考	必修 クラス指定			
科目読替				
社会人基礎能力	自分を育てる力	✓	共生・協働する力	✓
	コミュニケーションする力	✓	創造・発信する力	✓
	思考・解決する力	✓	主体的に行動する力	✓

## 1. 科目の教育目標

The aim of this course is for students to continue developing the skills needed to communicate effectively in oral English.

## 2. 教育・学習の個別課題

Active participation in all classroom activities is required. These activities include conversations, discussions, presentations, debates, and communication games.

## 3. 教育・学習の方法

This course will be conducted entirely in English. In-class activities will be completed individually, in pairs, and in small groups.

### ・準備学習の具体的な方法

Students are expected to complete their homework on time. Homework assignments include vocabulary study and preparation for in-class activities.

## 4. 評価方法・評価基準

Student assessment will be based on the following:

Class Participation: 60%

Quizzes and Tests: 40%

## 5. 授業予定

第1回 17 Again, Listening

第2回 Twenty Years Ago

第3回 Ned, Mike's Best Friend

第4回 Family: Wife and Children

第5回 Work Problem

第6回 Family Problem

第7回 The Janitor

第8回 17 Again

第9回 Back to High School

第10回 Helping Alex

第11回 The School Bully

第12回 Mike's Mission

第13回 Healing the Family

第14回 Happy Ending

第15回 17 Again, Summary

## 6. 留意事項

The schedule for instruction will be flexible. The instructor will set the pace according to the needs and abilities of the class.

講義コード	20203201			
科目名	Advanced English			
担当者	大川 淳			
単位数	2	配当学年	4	
資格				
前提科目				
テキスト	This course involves individual-learning contracts, so the text is to be decided by the teacher and each student.  All homework must be submitted by 20th July!			
参考文献	Each student's Study Plan will include a list of materials.  All homework must be submitted by 20th July!			
備考	必修			
科目読替				
社会人基礎能力	自分を育てる力	✓	共生・協働する力	
	コミュニケーションする力	✓	創造・発信する力	
	思考・解決する力	✓	主体的に行動する力	✓

### 1. 科目の教育目標

Advanced English is an independent study course for seniors. The course has two primary goals:

1. Students will improve their English language proficiency in topics that interest them.
2. Students will develop learning strategies that enable them to

### 2. 教育・学習の個別課題

1. Plan an English language study course for the semester.
2. Locate and select texts and other materials in English.
3. Use English regularly.
4. Study autonomously (independently).
5. Evaluate progress in learning.

All homework must be submitted

### 3. 教育・学習の方法

All homework must be submitted by 20th July!

This is an independent study course. Students will attend an orientation meeting, but there are no required weekly class meetings. Students will determine their own objectives, select their own English langu

#### ・準備学習の具体的な方法

Each student will follow her own Advanced English Plan and prepare her monthly reports. The instructor will be available for consultation. Students should check KNDU e-mail (Active! mail) for announcements at least once a week.

All homework must be sub

### 4. 評価方法・評価基準

All homework must be submitted by 20th July!

Grades: There are no numerical grades. Students will be given credit (Pass) upon satisfactory completion of all reports.

### 5. 授業予定

Advanced English Orientation will be held during Orientation Week. Those who are absent must arrange to meet one or more times with the instructor. Required assignments will be due at the end of each month:

1. April: Study Plan
2. May: Progress Report

### 6. 留意事項

1. Students must consult with the teacher regarding their goals, plans, study methods, and progress.
2. Students will use KNDU e-mail (Active! mail) for e-mail communication with the instructor.
3. All homework must be submitted by 20th July!

講義コード	20203603			
科目名	TOEIC I C			
担当者	松本 ドロタ			
単位数	2	配当学年	1	
資格				
前提科目				
テキスト	『TOEIC テスト 書き込みドリル【全パート入門編】新装版』 早川幸治 桐原書店 2015			
参考文献				
備考	定員 40人			
科目読替				
社会人基礎能力	自分を育てる力	✓	共生・協働する力	✓
	コミュニケーションする力	✓	創造・発信する力	✓
	思考・解決する力	✓	主体的に行動する力	✓

### 1. 科目の教育目標

このクラスでは、TOEIC 試験に必要な基礎的な文法力、語彙力、リスニング力の強化を目指します。

### 2. 教育・学習の個別課題

1. リスニング問題対策
2. TOEIC に特徴的な語彙や表現の学習
3. 基礎的な文法の復習
4. リーディングの演習
5. 実際の TOEIC 問題形式の練習

### 3. 教育・学習の方法

テキストを中心に授業を進めますが、さらに強化が必要な項目についてはプリントを追加配布する場合があります。

#### ・準備学習の具体的な方法

今回使用のテキストは自主学習のできる書き込み式のドリルです。授業内で指示のあった部分の自宅学習を必ず行うこと。また授業で扱ったリスニング問題は、付属 CD を利用して再度聞き直すなど自主的に復習を行うこと。

### 4. 評価方法・評価基準

評価は試験(30%)、授業参加度及び授業態度(30%)、授業参加 (20%)、課題等(20%)の総合評価を行います。授業の 1/3 以上を欠席の場合は単位が認められません。また 30 分以上の遅刻は欠席となるので注意してください。

### 5. 授業予定

- 第 1 回 オリエンテーション
- 第 2 回 Day 1 人物の動作と状態 (Part 1) Day 7 品詞 (Part 5)
- 第 3 回 Day 2 物の状態と位置 (Part 1) Day 8 動詞 (Part 5)
- 第 4 回 Day 3 疑問詞を使った疑問文 (Part 2) Day 9 代名詞・関係代名詞 (Part 5)
- 第 5 回 Day 4 基本構文 (依頼/提案/申し出) と応答の決まり文句 (Part 2) Day 10 接続詞・前置詞 (Part 5)
- 第 6 回 Day 5 Yes/No 疑問文 (Part 2) Day 11 Day 7~Day10 の復習 (Part 5)
- 第 7 回 Day 6 Day 1~Day 5 の復習 (Part 1 と Part 2) Day 21 表・用紙 (Part 7)
- 第 8 回 Day 12 店での会話 (Part 3) Day 22 手紙・Eメール (Part 7)
- 第 9 回 Day 13 電話での会話 (Part 3) Day 23 広告 (Part 7)
- 第10回 Day 14 屋外や交通機関での会話 (Part 3) Day 24 ダブルページ (2つの文書) (Part 7)
- 第11回 Day 15 オフィスでの会話 (Part 3) Day 25 Day 21~Day 24 の復習 (Part 7)
- 第12回 Day 16 留守番電話 (Part 4) Day 26 時制・代名詞・語い問題 (Part 6)
- 第13回 Day 17 アナウンス (Part 4) Day 27 つなぎ言葉 (Part 6)
- 第14回 Day 18 ラジオ放送 (広告/天気予報/交通情報/ニュース) (Part 4) Day 28 Day 26~Day 27 の復習 (Part 6)
- 第15回 Day 19 ツアー・トーク・スピーチ (美術館/工場/オリエンテーション) (Part 4) Day 20 Day 12~Day 19 の復習 (Part 3 と Part 4)

### 6. 留意事項

必ず授業には辞書を持参すること。

講義コード	20203703			
科目名	TOEIC II C			
担当者	松本 ドロタ			
単位数	2	配当学年	1	
資格				
前提科目				
テキスト	『Raise Your Score 150 Plus on the TOEIC Test 現スコアから150点アップを実現させる TOEIC Test 総合演習』 松岡昇 松拍社 2016			
参考文献				
備考	定員40人			
科目読替				
社会人基礎能力	自分を育てる力	✓	共生・協働する力	✓
	コミュニケーションする力	✓	創造・発信する力	✓
	思考・解決する力	✓	主体的に行動する力	✓

### 1. 科目の教育目標

このクラスでは、TOEIC 試験に必要な基礎的な文法力、語彙力、リスニング力の強化を目指します。

### 2. 教育・学習の個別課題

1. リスニング問題対策
2. TOEIC に特徴的な語彙や表現の学習
3. 基礎的な文法の復習
4. リーディングの演習
5. 実際の TOEIC 問題形式の練習

### 3. 教育・学習の方法

テキストを中心に授業を進めますが、さらに強化が必要な項目についてはプリントを追加配布する場合があります

#### ・準備学習の具体的な方法

授業で扱ったリスニング問題は、付属 CD を利用して再度聞き直すなど自主的に復習を行うこと。

### 4. 評価方法・評価基準

評価は試験(30%)、授業参加度及び授業態度(30%)、授業参加 (20%)、課題等(20%)の総合評価を行います。授業の 1/3 以上を欠席の場合は単位が認められません。また 30 分以上の遅刻は欠席となるので注意してください。

### 5. 授業予定

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 Shopping 基本文型
- 第3回 At a Restaurant 名詞の修飾
- 第4回 At an Airport 文と文の接続
- 第5回 Entertainment 知覚動詞と使役動詞
- 第6回 At a Hotel 助動詞
- 第7回 Job Hunting その他の助動詞と助動詞+完了形
- 第8回 Telephoning 時制と進行形
- 第9回 Negotiating 現在完了
- 第10回 Giving a Presentation 前置詞
- 第11回 Appointments to 不定詞
- 第12回 At a Bank 仮定法過去
- 第13回 On the Street 仮定法過去完了
- 第14回 taking a Trip 受動態
- 第15回 TOEIC テスト問題の総復習

### 6. 留意事項

必ず授業には辞書を持参すること。

講義コード	20204401			
科目名	Advanced Writing I A			
担当者	York Weatherford			
単位数	2	配当学年	2	
資格	[英]			
前提科目				
テキスト	『Writing Essays: From Paragraph to Essay』 Dorothy E. Zemach and Lisa A. Ghulldu Macmillan Education 2011			
参考文献				
備考	必修 クラス指定			
科目読替				
社会人基礎能力	自分を育てる力	✓	共生・協働する力	✓
	コミュニケーションする力	✓	創造・発信する力	✓
	思考・解決する力	✓	主体的に行動する力	✓

### 1. 科目の教育目標

The purpose of this course is to continue to help students improve their ability to express themselves in writing, building on the foundations provided by Reading I/II and Writing I/II.

### 2. 教育・学習の個別課題

The development of paragraphs and the composition of short essays will be stressed. Students will review the topic sentence and learn how to use a thesis statement to help them organize their essays coherently.

### 3. 教育・学習の方法

Classes will be conducted entirely in English. In-class activities will be completed individually, in pairs, and in small groups. Students will also have access to WriteLab, an online writing platform to help them draft, revise, and polish their writing.

#### ・準備学習の具体的な方法

Students should do all homework assigned by the teacher, including completion of all drafts of essays.

### 4. 評価方法・評価基準

Class participation : 40%

Writing assignments: 30%

Final paper: 30%

### 5. 授業予定

- 第1回 Course Introduction
- 第2回 The Writing Process
- 第3回 Pre-Writing
- 第4回 Paragraph Structure
- 第5回 Paragraph Development
- 第6回 Descriptive Paragraphs
- 第7回 Opinion Paragraphs
- 第8回 Comparison/Contrast Paragraphs
- 第9回 Problem/Solution Paragraphs
- 第10回 Essay Structure
- 第11回 Essay Outlining
- 第12回 Introductions and Conclusions
- 第13回 Unity and Coherence
- 第14回 Essays for Examinations
- 第15回 Final Paper and Presentation

### 6. 留意事項

The syllabus is subject to change depending on the abilities of the students.

講義コード	20302202			
科目名	専門講読 I c B 小説への招待			
担当者	小林 順			
単位数	2	配当学年	1	
資格				
前提科目				
テキスト	文学・文化に関わるオンライン上のマテリアル。Project Gutenberg と青空文庫から選んで原典を適宜選択したうえで部分的に読解します。			
参考文献				
備考				
科目読替	180015「学びの扉V・ことば学」			
社会人基礎能力	自分を育てる力	✓	共生・協働する力	✓
	コミュニケーションする力	✓	創造・発信する力	✓
	思考・解決する力	✓	主体的に行動する力	✓

### 1. 科目の教育目標

基礎語学科目 (特に Reading I/II、Advanced Reading I/II) で培われる基礎的英語読解能力を応用し、英語英文学科で専門的に学んでいく学術的内容を原書文献で読み進める授業となる。

### 2. 教育・学習の個別課題

1. 小説歴史へのアプローチ。
2. 小説の原初形態。
3. 小説の近代的特徴。

### 3. 教育・学習の方法

授業スタイルは「講義と演習」とする。毎回のテーマに沿ったリーディング課題が課されるため、授業までには必ず読んでくることを前提として授業を進める。講義ではリーディング課題で読み取るべき重要なポイントや補足的説明を加えることを目的とし、その後、与えられたテーマについてディスカッションをペア、またはグループで行ってもらい、最終的に個人で意見をまとめる。

#### ・準備学習の具体的な方法



小説は、特に、欧米では、近代の市民社会が産み出したジャンルであります。この文学形式が熟成し隆盛を極めたのは19世紀でした。この19世紀を山の頂に見立てて、一方に古代へとおり下るすそ野があり、片方に現代へと下りくるすそ野を想定して、小説の歴史を紐解くことにします。

言語に関するさまざまなテーマを扱い、それについて議論をしていくのがこのクラスの基本的なスタイルであるので、自発的に「考える」ことを常に心がけてほしい。次のクラスで議論する事をあらかじめ伝えるので自分なりに意見をまとめておく事が期待される

#### 4. 評価方法・評価基準

プレゼンテーション 30%、レポート 35%、小テスト 20%、授業参加度 25%、を基にして評価する。

#### 5. 授業予定

- 第1回 小説の祖先1 (ギリシャの叙事詩)
- 第2回 小説の祖先2 (ローマの叙事詩)
- 第3回 小説の胎児1 (中世ヨーロッパの物語詩)
- 第4回 小説の胎児2 (英仏の吟遊詩=音楽と詩)
- 第5回 中世イギリスのリアリズム (『カンタベリー物語』)
- 第6回 市民社会への移行期の物語 (『天路歷程』)
- 第7回 小説を凌駕する市民の叙事詩 (『失楽園』)
- 第8回 近代小説の先駆け (スペイン悪党物語)
- 第9回 ヨーロッパ近代の幕開け (『ドン・キホーテ』)
- 第10回 イギリス近代小説の雄 (『トム・ジョーンズ』)
- 第11回 近代的病理物語としての小説 (『トリスツラム・シャンディ』)
- 第12回 近代小説の一里塚 (『プライドアンドプレジュディス』)
- 第13回 近代小説の頂 (『デイビッド・クーパーフィールド』)
- 第14回 小説の終焉? (『ユリシーズ』)
- 第15回 まとめ:『ハリー・ポッター』の位置づけ

#### 6. 留意事項

出席しなければ、授業内容を理解できません。大いに作品を読むように心がけてください。

講義コード	20603301		
科目名	Global English Lecture III c Teaching English to Young Learners		
担当者	Michael Barr		
単位数	2	配当学年	234
資格			
前提科目			
テキスト	There is no textbook for this class: the instructor will provide supplementary resources from the internet including links to readings.		
参考文献	『An introduction to language』 Fromkin, V., Rodman, R., Hyams, N. Thompson Wadsworth 2007 『Foundations of bilingual education and bilingualism』 Baker, C. Multilingual matters 2006 『Methodology in language teaching』 Richards, J. C., Renandya, W. A. Cambridge 2002 Source material will be summarized and simplified so that it is accessible to students. It is not necessary to buy the reference books but may be useful in the future to students who wish to undertake further advanced study.		
備考			
科目読替			
社会人基礎能力	自分を育てる力	✓	共生・協働する力
	コミュニケーションする力	✓	創造・発信する力
	思考・解決する力	✓	主体的に行動する力

#### 1. 科目の教育目標

Global English Lecture: Teaching English to Young Learners - This course is intended to serve as an overview of the language learning process, with a special emphasis on the process of language learning for young adults. The topics covered will have spec

#### 2. 教育・学習の個別課題

Students taking this course will be able to discuss and explain the processes involved in language learning. They will be able to discuss learning styles and techniques, and grow in understanding the role of English as a 'world language'

#### 3. 教育・学習の方法

Lectures will be presented in addition to some multi media input

including audio and video. Students are expected to take notes and provide questions/comments for discussion and further study.

#### ・準備学習の具体的な方法

Students should do any assigned pre-reading before class. During class students are expected to take notes and pay attention. Use of cell phones is strictly prohibited during class.

#### 4. 評価方法・評価基準

There will be one mid-term writing assignment in a short essay format (50% of class grade), and a final paper (50% of class grade).

#### 5. 授業予定

- 第1回 Course Introduction. What is Language?
- 第2回 The Nature of Language I.
- 第3回 Nature of Language II.
- 第4回 First Language Acquisition
- 第5回 Stages of Language learning
- 第6回 Learning styles
- 第7回 Differences between first language acquisition FLA and second language acquisition (SLA)
- 第8回 Mid term paper assignments, discussion, collaboration
- 第9回 Mid term papers due.
- Introduction to Bilingual Education
- 第10回 Bilingualism and Cognition
- 第11回 Differences Between Childhood and Adult Bilingualism
- 第12回 Language in Society: Dialects, "World Englishes"
- 第13回 English as a Lingua Franca - Language and Identity, Sociolinguistics
- 第14回 Introduction to Teaching Methodology: Listening, Speaking
- 第15回 Review. Final Papers Due. Developing Communicative competence

#### 6. 留意事項

Students are expected to be on time for the lectures. Use of cell phones is strictly prohibited during class time, but tablets/laptops may be used for note taking and writing during class.

講義コード	20604101		
科目名	Global English Workshop I a 日本のことを英語で伝える		
担当者	嶋本 浩子		
単位数	3	配当学年	234
資格	[英]		
前提科目			
テキスト	『あなたも通訳ガイドです 英語で案内する京都』 柴山かつの Japan Times 2015年		
参考文献	『カラーベディア 英文日本大事典』 講談社 1993年 『英語で紹介する日本事典』 ナツメ社 2010年 『英語で説明する日本の文化 必須表現グループ100』 語研 2010年 『教養としての宗教入門 基礎から学べる信仰と文化』 中村圭志 中公新書2293 2014年 『禅と日本文化』 鈴木大拙 岩波新書1940 1997年		
備考	週1.5コマ 定員30人		
科目読替	205647「日本文化観ガイド」		
社会人基礎能力	自分を育てる力	✓	共生・協働する力
	コミュニケーションする力	✓	創造・発信する力
	思考・解決する力	✓	主体的に行動する力

#### 1. 科目の教育目標

英語を通じて、海外の人々と交流するとき、相手の国や考え方を理解することは大事なことです。同時に、私たちは、私達の国である日本の伝統や文化を正しく理解し、それを外国語である英語で伝えることは大事なことです。英語で表現することは、日本語と英語では異なる思想体系をもつことを体得することにもなります。

講師は、長らく通訳案内士としても英語で海外の人々に日本文化を紹介してきました。その経験から、日本文化の理解とその伝え方、さらに、肌身をもってわかった東西思想の違いを、わかりやすく解説したいと考えています。

#### 2. 教育・学習の個別課題

本授業では、

- ①日本の伝統的事象をテーマに分けて、それらを正しく理解します。
- ②それらを、英語で的確に伝える方法を学習します。
- ③そのためには、通訳技法であるシャドーイングやサイトトランスレーション

ョンを導入します。

④英語のリスニング力を鍛えます。

### 3. 教育・学習の方法

①講義(日・英)・質疑応答(英語を基本とする)を基本とします。

②講義の解説には、DVDの映像やパワーポイントを使います。

③テーマ別的小テスト並びにレポート、または、学生による発表(英語)を行います。

④英語の学習法については、通訳技法であるシャドーイングやサイトトランスレーションを導入します。

⑤期間中に一度、課外実習として現役の通訳案内士である担当講師とともに、京都市半日観光ツアーへの参加を求めます。

#### ・準備学習の具体的な方法

①毎回とりあげるテーマに関して、テキストを前もって自習しておいてください。

②そのテーマについて毎回小テスト、あるいは、レポートの提出を求めますので、課題に備えて復習しておいてください。

### 4. 評価方法・評価基準

授業参加度(15%)小テスト(30%)授業で行うプレゼンテーション(15%)

最終回のプレゼンテーション(40%)に基づいて総合的にを行います。

### 5. 授業予定

- 第1回 オリエンテーション/通訳案内と京都
- 第2回 平安神宮
- 第3回 伏見稲荷大社
- 第4回 神道のまとめ
- 第5回 清水寺と仏教
- 第6回 三十三間堂と仏教
- 第7回 天龍寺と禅
- 第8回 金閣寺と能
- 第9回 龍安寺と石庭
- 第10回 銀閣寺
- 第11回 東山文化①茶道
- 第12回 東山文化②華道・盆栽
- 第13回 二条城
- 第14回 二条城と将軍
- 第15回 学生によるプレゼンテーション

### 6. 留意事項

授業の一環である実地研修は、日時と見学場所を受講学生と調整したいと考えています。参加費用は、拝観料は1500円程度、あとは交通費を考えています。交通費に関して言えば、交通手段と先行、実地研修当日の天候にもより費用が変わりますので、受講生と相談したく考えています。

講義コード	22510301			
科目名	音楽学特講 西洋音楽とその文化の背景を探る			
担当者	小川 光			
単位数	2	配当学年	34	
資格				
前提科目				
テキスト	特定のテキストは使用しないが、理解の補助としてハンドアウトを配布することもある。			
参考文献	『図解音楽辞典』 U・ミヒェルス著/角倉監訳 白水社			
備考				
科目読替				
社会人基礎能力	自分を育てる力	✓	共生・協働する力	
	コミュニケーションする力		創造・発信する力	✓
	思考・解決する力	✓	主体的に行動する力	

### 1. 科目の教育目標

西洋音楽は古来、種々の音楽論において数理的な考えと関連づけて論じられてきた。その理由は、作曲するという語の、それぞれ英語とドイツ語の compose と komponieren の両者とも「構成する」の意味を持っていて、このことで作曲とは、互いに違う旋律や和音を、ある種の計算を通じてリズム上で同調させ、融和させる行為と同義だからである。しかし音楽は数理によってのみ論じることには不可能であり、それには歴史における音楽の在り方と場が問われなければならない。そのために音楽というものを、音楽史だけでなく諸芸術の歴史上の様

### 2. 教育・学習の個別課題

1. 音楽学というもの歴史 2. ムジカ・スペクラティヴァ 3. 音楽と数理の関連性 4. ポリフォニーとモノディー 5. 情緒―描出から感情―表現へ 6. 音楽上の古典主義とは 7. ロマン派の音楽：感情美学

### 3. 教育・学習の方法

1. 授業方法 楽曲の響きに潜むものを見出し(聴き取り)、音楽の本質をゼミ形式で克明に研究する。 2. テキスト・参考書 参考書：U・ミヒェルス著/角倉監訳 『図解音楽辞典』(白水社)

#### ・準備学習の具体的な方法

個々の学習者は予備知識として、このシラバスの「教育・学習の個別課題」や「授業予定一覧」に示される名称のもつ意味を、図書館情報センター(図書館)で調べておくこと。そのことによって、講義であつた音楽史上の各時代とそれに関連する時代背景の予備知識ができ、実際に講義で聴く楽曲の響きと、それを生み出した歴史・社会的背景の連関の理解が増す。音楽の本質についての興味が最も重要である。

### 4. 評価方法・評価基準

全授業数の3分の1を欠席すると評価対象にならない。また、一度の欠席によっても理解が大変遅れるので、毎回の出席は絶対条件。評価は、授業中の質問への正答率への評価20%、まとめフィードバック・テスト80%とする。特に、初回の授業において授業の方針その他の重要な注意を話すので、それらをしっかりと確認すること。

### 5. 授業予定

- 第1回 ギリシア音楽の西洋思想史上の意義
- 第2回 西洋音楽史概観：中世〜ルネサンス
- 第3回 西洋音楽史概観：古典派〜ロマン派
- 第4回 西洋音楽史概観：印象派〜現代
- 第5回 ボエティウスの音楽論・音楽と数理
- 第6回 ムジカ・テオレティカとムジカ・ボエティカ
- 第7回 「バロック」という時代の社会的背景
- 第8回 バロックの宇宙論と音楽論
- 第9回 ポリフォニーからモノディーへ
- 第10回 情緒の描出から感情の表現へ
- 第11回 グルックの音楽改革：音楽の古典主義
- 第12回 ベートーヴェン：ロマン主義の先駆者
- 第13回 音楽のロマン主義
- 第14回 「和声の危機」：現代音楽への道程
- 第15回 全まとめ

### 6. 留意事項

音楽の様々の事項に関して、学生一人ひとりの意見や見解が求められることに留意しておくこと。

講義コード	24513701			
科目名	社会福祉史			
担当者	酒井 久美子			
単位数	2	配当学年	23	
資格				
前提科目				
テキスト				
参考文献				
備考	H27以前入学生用 H28年度まで			
科目読替				
社会人基礎能力	自分を育てる力	✓	共生・協働する力	
	コミュニケーションする力		創造・発信する力	
	思考・解決する力	✓	主体的に行動する力	

### 1. 科目の教育目標

わが国の社会福祉の生成過程や展開については、時代の社会的、経済的背景など、歴史的発展過程に影響されている。また、欧米など諸外国の動向にも影響を受けて展開されている。そこで、社会福祉の歴史的なあゆみについて海外の動向と日本の動向をたどり、その特徴や概略を理解する。そして、各時代の社会福祉問題と社会福祉に関する法制度との関連を理解したうえで、現代社会における社会福祉問題とその解決策として展開されている現代の社会福祉の現状や課題について検討する。それらを踏まえたうえで、今後の社会福祉の展望について考察する。

### 2. 教育・学習の個別課題

- 1. イギリス、アメリカを中心に諸外国の社会福祉の歩みや概要を理解する。
- 2. 日本における社会福祉の歩みや特徴を理解する。
- 3. 今後の日本における社会福祉の課題や展望について考える。

### 3. 教育・学習の方法

配付資料をもとに講義をおこなう。

参考文献などは随時紹介する。

#### ・準備学習の具体的な方法

授業内容の理解を深めるため、毎回簡単な復習クイズをおこなう。毎回の授業を復習し、次の授業に臨むこと。

### 4. 評価方法・評価基準

評価は出席率・授業参加度(30%)、復習クイズ(10%)、形成テスト(60%)に基づいて総合的におこなう。欠席や遅刻は減点の対象とする。欠席が3

分の1を超過した場合は、原則として単位を認めない。受講態度や参加度についても考慮しておこなう。

## 5. 授業予定

- 第1回 イギリスの社会福祉のあゆみ（慈善事業）
- 第2回 イギリスの社会福祉のあゆみ（救済法）
- 第3回 イギリスの社会福祉のあゆみ（社会事業）
- 第4回 イギリスの社会福祉のあゆみ（社会保障制度）
- 第5回 アメリカの社会福祉のあゆみ
- 第6回 日本の社会福祉のあゆみ（前近代社会における慈善・救済）
- 第7回 日本の社会福祉のあゆみ（明治期の慈善・救済事業）
- 第8回 日本の社会福祉のあゆみ（明治末期の感化救済事業）
- 第9回 日本の社会福祉のあゆみ（大正期の社会事業成立）
- 第10回 日本の社会福祉のあゆみ（方面委員制度の成立とその後の展開）
- 第11回 日本の社会福祉のあゆみ（救護法と戦後厚生事業）
- 第12回 日本の社会福祉のあゆみ（敗戦後の社会福祉の展開）
- 第13回 日本の社会福祉のあゆみ（日本経済と社会福祉）
- 第14回 日本の社会福祉のあゆみ（現代の社会福祉の動向）
- 第15回 形成テストおよび総括

## 6. 留意事項

講義コード	24531559			
科目名	養護内容P			
担当者	徳岡 博巳			
単位数	配当学年	34		
資格				
前提科目				
テキスト	授業で使う資料等はこちらで用意します。			
参考文献				
備考	特別選択科目			
科目読替				
社会人基礎能力	自分を育てる力	✓	共生・協働する力	✓
	コミュニケーションする力	✓	創造・発信する力	✓
	思考・解決する力	✓	主体的に行動する力	✓

### 1. 科目の教育目標

1. 社会的養護における児童の権利擁護や保育士等の倫理について具体的に理解する。
2. 施設養護及び他の社会的養護の実践について学ぶ。
3. 個々の児童に応じた支援計画を作成し、日常生活の支援、治療的支援、自立支援等の内容について具体的に理解する。
4. 社会的養護にかかわるソーシャルワークの方法と技術を習得する。
5. 社会的養護を通して、家庭支援、児童家庭福祉、地域福祉について理解や認識を深める。

### 2. 教育・学習の個別課題

児童福祉施設の現状 子どもの生活と支援 虐待の理解及びその対応  
ソーシャルワーク 自己決定支援 権利擁護

### 3. 教育・学習の方法

児童養護施設における実習生と子どもの場面事例を通して、施設養護や他の社会的養護についての理解を深める。また、具体的な養護の実践に接し援助の方法や技術を学ぶ。

実際の事例をグループで検討することで、個々の児童に応じた日常生活支援、治療的支援、自立支援等の内容を学ぶ。

### ・準備学習の具体的な方法

グループでディスカッションしながら、子どもへの関わりを検討するため、授業内容について予習しておく。

### 4. 評価方法・評価基準

授業参加度(40%)及びレポート(60%)により総合判断する。

### 5. 授業予定

- 第1回 オリエンテーション（グループ作り、事例検討の予備知識）
- 第2回 事例1-1：社会的養護とは何かを学ぶ
- 第3回 事例1-2：日常生活支援を考える1（子どもの行動の意味の理解）
- 第4回 事例2-1：社会的養護の歴史を学ぶ
- 第5回 事例2-2：日常生活支援を考える2（ためし行為への対応）
- 第6回 事例3-1：社会的養護の基本原則を学ぶ
- 第7回 事例3-2：治療的支援を考える1（子ども同士の関係）
- 第8回 事例4-1：虐待とは何かを学ぶ
- 第9回 事例4-2：治療的支援を考える2（怒ると叱るの理解）
- 第10回 事例5-1：保育士の専門性にかかわる知識・技術を学ぶ
- 第11回 事例5-2：自立支援を考える（多問題を抱える児童への援助）
- 第12回 事例6-1：ソーシャルワークにかかわる知識・技術を学ぶ（家族支援1）

第13回 事例6-2：ソーシャルワークにかかわる知識・技術の応用（家族支援2）

第14回 事例6-3：ソーシャルワークにかかわる知識・技術の応用（ネットワークの理解）

第15回 まとめ

## 6. 留意事項

グループワークを中心に授業を行いますので、遅刻は厳禁です。欠席する場合は事前に連絡すること。

講義コード	10183501			
科目名	資格英語Ⅰ			
担当者	沖原 勝昭			
単位数	配当学年	1234		
資格				
前提科目				
テキスト				
参考文献				
備考	英語英文学科生は履修できない			
科目読替				
社会人基礎能力	自分を育てる力	✓	共生・協働する力	
	コミュニケーションする力	✓	創造・発信する力	
	思考・解決する力	✓	主体的に行動する力	✓

### 1. 科目の教育目標

英語は実質的に「世界共通語」の役割をもつようになって来ている。特に政治経済、文化交流、そして情報メディアなど、国や地域の「枠」を越えて問題の把握あるいは問題の解決が求められる分野では特に共通言語が必要とされ、英語がますます重要な位置を占める言語となっている。本学ではすべての学生がこのような「言葉」をめぐる現実をよく理解し、英語運用能力育成を自らのキャリアビジョン中に明確に位置づけるように強く期待し、一方で様々な面で指導体制の充実を図っている。「資格英語Ⅰ」及び「資格英語Ⅱ」は、学生の英語運用能力の育成を目指して配置された科目のひとつで、第三者機関の行う英語の標準テストでの一定の成果に対し単位を認める制度である。

### 2. 教育・学習の個別課題

英語の標準テストで現状よりも高い成果をあげる。

### 3. 教育・学習の方法

各自に合った方法を見いだすよう日頃から心がける。

### ・準備学習の具体的な方法

長期的観点からの英語力向上のための学習方略を編み出すとともに、TOEICなどの標準テストについて過去問を研究し、回答方法に慣れるなど、短期的な戦術の向上も図る。

### 4. 評価方法・評価基準

単位認定のために求められる成果の基準は以下の通り。  
TOEIC 500点以上 600点未満 (TOEIC-IP 含む) の場合は「資格英語Ⅰ」のみ、TOEIC 600点以上 (TOEIC-IP 含む) 又は実用英語検定 準1級以上の場合は「資格英語Ⅰ」及び「資格英語Ⅱ」の単位が認定される。  
単位認定を希望する者は、単位認定申請書(教務委員会様式)及びTOEICの成績通知書の原本(受験した日から3年以内のもの)を教務課へ提出すること。

提出期日：単位認定を希望する学期の授業最終日

### 5. 留意事項

講義コード	10183601			
科目名	資格英語Ⅱ			
担当者	沖原 勝昭			
単位数	配当学年	1234		
資格				
前提科目				
テキスト				
参考文献				
備考	英語英文学科生は履修できない			
科目読替				
社会人基礎能力	自分を育てる力	✓	共生・協働する力	
	コミュニケーションする力	✓	創造・発信する力	
	思考・解決する力	✓	主体的に行動する力	✓

### 1. 科目の教育目標

英語は実質的に「世界共通語」の役割をもつようになって来ている。特に政治経済、文化交流、そして情報メディアなど、国や地域の「枠」を越えて問題の把握あるいは問題の解決が求められる分野では特に共通言語

が必要とされ、英語がますます重要な位置を占める言語となっている。本学ではすべての学生がこのような「言葉」をめぐる現実をよく理解し、英語運用能力育成を自らのキャリアビジョン中に明確に位置づけるように強く期待し、一方で様々な面で指導体制の充実を図っている。「資格英語 I」及び「資格英語 II」は、学生の英語運用能力の育成を目指して配置された科目のひとつで、第三者機関の行う英語の標準テストでの一定の成果に対し単位を認める制度である。

## 2. 教育・学習の個別課題

英語の標準テストで自分の目指す目標レベルを設定し、それを達成するための戦略を練る。

## 3. 教育・学習の方法

各自に合った方法を見いだすよう日頃から心がける。

### ・準備学習の具体的な方法

長期的観点からの英語力向上のための学習方略を編み出すとともに、TOEIC などの標準テストについて過去問を研究し、回答方法に慣れるなど、短期的な戦術の向上も図る。

## 4. 評価方法・評価基準

単位認定のために求められる成果の基準は以下の通り。

TOEIC 500 点以上 600 点未満 (TOEIC-IP 含む) の場合は「資格英語 I」のみ、TOEIC 600 点以上 (TOEIC-IP 含む) 又は実用英語検定 準 1 級以上の場合は「資格英語 I」及び「資格英語 II」の単位が認定される。単位認定を希望する者は、単位認定申請書 (教務委員会様式) 及び該当する検定試験の成績通知書の原本 (受験した日から 3 年以内のもの) を教務課へ提出すること。

提出期日: 単位認定を希望する学期の授業最終日

## 5. 留意事項

講義コード	20203301		
科目名	イングリッシュ・チャレンジ I		
担当者	小林 順		
単位数	配当学年	1234	
資格			
前提科目			
テキスト			
参考文献			
備考			
科目読替			
社会人 基礎能力	自分を育てる力	✓	共生・協働する力
	コミュニケーションする力	✓	創造・発信する力
	思考・解決する力	✓	主体的に行動する力

## 1. 科目の教育目標

英語は実質的に「世界共通語」の役割をもつようになって来ている。特に政治経済、文化交流、そして情報メディアなど、国や地域の「枠」を越えて問題の把握あるいは問題の解決が求められる分野では特に共通言語が必要とされ、英語がますます重要な位置を占める言語となっている。本学ではすべての学生がこのような「言葉」をめぐる現実をよく理解し、英語運用能力育成を自らのキャリアビジョン中に明確に位置づけるように強く期待し、一方で様々な面で指導体制の充実を図っている。「イングリッシュ・チャレンジ I」及び「イングリッシュ・チャレンジ II」は、学生の英語運用能力の育成を目指して配置された科目のひとつで、第三者機関の行う英語の標準テストでの一定の成果に対し単位を認める制度である。

## 2. 教育・学習の個別課題

英語の標準テストで現状よりも高い成果をあげる。

## 3. 教育・学習の方法

各自に合った方法を見いだすよう日頃から心がける。

### ・準備学習の具体的な方法

長期的観点からの英語力向上のための学習方略を編み出すとともに、TOEIC などの標準テストについて過去問を研究し、回答方法に慣れるなど、短期的な戦術の向上も図る。

## 4. 評価方法・評価基準

単位認定のために求められる成果の基準は以下の通り。

TOEIC 600 点以上 730 点未満 (TOEIC-IP 含む) の場合は「イングリッシュ・チャレンジ I」のみ、TOEIC 730 点以上 (TOEIC-IP 含む) 又は実用英語検定 準 1 級以上の場合は「イングリッシュ・チャレンジ I」及び「イングリッシュ・チャレンジ II」の単位が認定される。単位認定を希望する者は、単位認定申請書 (教務委員会様式) 及び該当する検定試験の成績通知書の原本 (受験した日から 3 年以内のもの) を教務課へ提出すること。

提出期日: 単位認定を希望する学期の授業最終日

## 5. 留意事項

講義コード	20203401		
科目名	イングリッシュ・チャレンジ II		
担当者	小林 順		
単位数	配当学年	1234	
資格			
前提科目			
テキスト			
参考文献			
備考			
科目読替			
社会人 基礎能力	自分を育てる力	✓	共生・協働する力
	コミュニケーションする力	✓	創造・発信する力
	思考・解決する力	✓	主体的に行動する力

## 1. 科目の教育目標

英語は実質的に「世界共通語」の役割をもつようになって来ている。特に政治経済、文化交流、そして情報メディアなど、国や地域の「枠」を越えて問題の把握あるいは問題の解決が求められる分野では特に共通言語が必要とされ、英語がますます重要な位置を占める言語となっている。本学ではすべての学生がこのような「言葉」をめぐる現実をよく理解し、英語運用能力育成を自らのキャリアビジョン中に明確に位置づけるように強く期待し、一方で様々な面で指導体制の充実を図っている。「イングリッシュ・チャレンジ I」及び「イングリッシュ・チャレンジ II」は、学生の英語運用能力の育成を目指して配置された科目のひとつで、第三者機関の行う英語の標準テストでの一定の成果に対し単位を認める制度である。

## 2. 教育・学習の個別課題

英語の標準テストで自分の目指す目標レベルを設定し、それを達成するための戦略を練る。

## 3. 教育・学習の方法

各自に合った方法を見いだすよう日頃から心がける。

### ・準備学習の具体的な方法

長期的観点からの英語力向上のための学習方略を編み出すとともに、TOEIC などの標準テストについて過去問を研究し、回答方法に慣れるなど、短期的な戦術の向上も図る。

## 4. 評価方法・評価基準

単位認定のために求められる成果の基準は以下の通り。

TOEIC 600 点以上 730 点未満 (TOEIC-IP 含む) の場合は「イングリッシュ・チャレンジ I」のみ、TOEIC 730 点以上 (TOEIC-IP 含む) 又は実用英語検定 準 1 級以上の場合は「イングリッシュ・チャレンジ I」及び「イングリッシュ・チャレンジ II」の単位が認定される。単位認定を希望する者は、単位認定申請書 (教務委員会様式) 及び該当する検定試験の成績通知書の原本 (受験した日から 3 年以内のもの) を教務課へ提出すること。

提出期日: 単位認定を希望する学期の授業最終日

## 5. 留意事項